

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

この研究の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の試料（例：血液など）や診療情報（例：カルテの情報など）をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、下欄の問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

《試料・情報の利用目的及び利用方法》	●研究の名称 Gd-EOB-DTPA 肝造影 MRI 動脈相画像における readout trajectory が与える影響の解析：後方視的観察研究
	●研究の対象 2021 年 8 月～2024 年 6 月に肝臓造影 MRI 検査（Gd-EOB-DTPA と呼ばれる肝臓用造影剤を使用）を受けた方
	●研究の目的 MRI 検査は体内を痛みなく画像化することができる検査です。肝造影 MRI 検査は肝臓内の病変を見つける能力に優れています。肝腫瘍の中でも肝臓癌の診断にあたっては動脈相と呼ばれる画像が重要です。一方で動脈相を撮像する際に一定の頻度で画像が乱れてしまうことがあります。 この研究では動脈相画像における乱れを低減する最新の 3 撮像法を比較することで、どの撮像法が動脈相画像の画質低下を最も抑制できるかを比較検討することを目的としています。
	●研究の期間 研究機関の長による実施許可日 から 2026 年 3 月まで
	●利用又は提供を開始する予定日 研究機関の長による実施許可日
	●他の機関に提供する場合には、その方法 データの提供は、記憶媒体（HDD, SSD）に保存し、郵送で行います。記憶媒体に保存する場合には、個人を特定する情報は削除し、パスワードをかけ、特定の関係者以外がアクセスできない状態で行います。特定の個人を照合するための情報は、研究責任者・研究分担者が保管・管理します。
《利用し、又は	●研究に使用する試料・情報

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

提供する試料・情報の項目»	情報：年齢、性別、身長、体重、既往歴、背景肝疾患、肝MRI検査
«利用する者の範囲»	<p>●機関名および責任者名 浜松医科大学 五島 聰 島田市立総合医療センター 塚本 慶</p>
«試料・情報の管理について責任を有する者の氏名又は名称»	浜松医科大学 放射線医学講座 五島 聰
«試料・情報の利用又は他の研究機関への提供の停止（受付方法含む）»	あなたの試料または情報を研究に使用することや、他の研究機関に提供することを望まない場合には、問い合わせ先まで連絡をいただければ、いつでも使用や提供を停止することができます。連絡方法は、以下«問い合わせ先»をご確認ください。
«資料の入手または閲覧»	この臨床研究の計画や方法については、あなたのご希望に応じて資料の要求または閲覧ができます。あなたがご自分の研究結果を知りたいと希望される場合は、研究担当者にその旨をお伝えいただければ、他の研究対象者に不利益が及ばない範囲内で、あなた自身にあなたの結果をお伝えします。希望された資料が他の研究対象者の個人情報の場合には、資料の提供または閲覧はできません。
«情報の開示»	あなたご自身が研究の概要や結果などの情報の開示を希望される場合は、他の参加者に不利益が及ばない範囲内で、原則的に結果を開示いたします。しかし、情報の開示を希望されない場合は、開示いたしません。また、本研究の参加者以外の方が情報の開示を希望する場合は、原則的に結果を開示いたしません。なお、開示に当たっては大学の規定に基づく手数料が発生します。
«問い合わせ先»	<p>〒431-3192 浜松市中央区半田山一丁目 20 番 1 号 浜松医科大学</p> <p>部署名： 放射線診断学講座 担当者： 舟山 慧</p>

人を対象とする生命科学・医学系研究に関する情報公開文書

TEL : 053-435-2242

E-mail : funayama@hama-med.ac.jp